

令和4年3月4日（金）

## 2分の1成人式 はなむけの言葉

東原庁舎中央校 下村 昌弘

- 4年生の皆さん、本日、2分の1成人式を迎えることができました。おめでとうございます。心からお祝いします。残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お家の方の参列はご遠慮していただきましたが、式典の価値に変わりはありません。

- さて、4年生の皆さん、今日の2分の1成人式にはどのような意味があると考えていますか。皆さんは今日のこの儀式をどのように受け止めていますか。



- そこで、この節目となる儀式の開催に当たって、私が皆さんに期待していることをお話しします。

- 明治時代から140年間、日本の成人年齢は20歳と民法で定められていましたが、これが改正され、今年4月1日から18歳が成人となります。

- 「では、来年から2分の1成人式は9歳？」という疑問がわいてくるわけですが、私はそうは思いません。なぜなら10歳という年齢にこそ人が生きていくうえで大きな意味があるからです。

- 10年ひと昔と言いますが、10年というサイクルは人間が成長する過程で、身体的にも、精神的にも大きな変化があります。

- 例えば、4年生から5年生にかけて、言葉の世界がうんとひろがり、頭の中で想像できる、考えることができる世界がぐっと広がります。

- 考える範囲が、身近なこと（例えば家の周りのこと）だけだったのに、だんだん地域のこと（多久市のこと、佐賀県のこと）とか日本のことに広がって行きます。それに、今、現在のことだけでなく、ずっと昔のことや遠い未来のことにも考える範囲が広がっていきます。



- また、自分に対しても少しずつ見方が変わってきます。皆さんは人前で自分のことを言う時に何と言いますか。おそらく、自分のことを自分の名前と言っていたのが、だんだん「私は」とは「僕は」という言葉で言うようになります。むしろそう言わないと恥ずか

しいと感じるようになります。自分を人との関係の中で見ることができるようになります。それが成長です。

- このように10歳というのは、体の成長はもちろんですが、心や頭の成長においてもとても大きな変化を遂げる時期なのです。
- そこで、この10歳の節目に次の3つのことをしてほしいと思います。1つは、これまでの10年を振り返ること、2つはこれからの10年を考えるとということ、そして3つめは今を生きるということです。

- まず1つめ。これまでの10年間を思い出してみてください。

- 生まれてから、保育園、幼稚園に通って、そしてこの学校に入学してきました。ずいぶん大きくなりました。いろいろなことがありました。でも、自分だけの力で大きくなったわけではありません。

- これまで皆さんを大事に、大事に育ててくれた、お父さん、お母さん、兄弟、姉妹、おじいさん、おばあさん、学校の先生、近所のおじさん、おばさん、こうした人たちに、心から感謝し、そして「これからもよろしくお願いします」ときちんと言ってください。



- そして2つ目。これから先の10年を想像してみてください。どんな大人になっているでしょう。あるいは、どんな大人になりたいですか。

- 知らない世界を想像することは、とても難しいことです。どんな仕事をしたいですか、どんなことに興味がありますか、などと聞かれても困ってしまうかもしれません。

- そんな時は、有名な人や身近な人に、目標になる人を作ってください。「将棋棋士の藤井聡太さんみたいな人になりたい」とか、「6年生の〇〇さんみたいな人になりたい」とか。これだと分かりやすいですね。それが自分の憧れのモデルです。そういう人をぜひ一人作ってください。



- 最後3つめ。過去を振り返り、未来を想像してみました。最後は、過去と未来をつなぐ今をしっかりと生きてほしいということです。「今」の積み重ねが、未来につながるからです。

- この学校は4年生を「基礎学年の完成期」と位置付けています。

- つまり、この4年生までに、あいさつや

返事といった「生活習慣」をしっかり身に付けること、そして、学校でも家でもきちんと机に向かえるとといった「学習習慣」をしっかり身につけることを目指してきました。この一か月は総仕上げのつもりです。そして、次の5年生に進級してください。

- そしてさっき、想像する範囲が広がる、考える範囲が広がるという話をしました。人は頭の中で考える時「言葉」を使います。ですから、考える範囲を広げるためにはたくさんの「言葉」を使えるようにならなければなりません。だからみなさん、しっかり本を読んでください。



- ではまとめます。どうかみなさん、今日はお家の人に「ありがとう」ということ、あこがれのモデルをもつこと、そして今をしっかり生きること。この3つをお願いしてはなむけの言葉とします。がんばってください。